

# 第 1 回 中播磨 (市川流域圏) 地域総合治水推進協議会 上流域ワーキング 議 事 要 旨

事項	第1回 中播磨 (市川流域圏) 地域総合治水推進協議会 上流域ワーキング	出席者	20名 (事務局除く)
日時	平成25年8月7日 14:00~16:00	場所	神河町役場 3F 第3会議室
内容	<p>1. 開会  (1) 開会あいさつ  (2) 構成員紹介</p> <p>2. 中播磨 (市川流域圏) 地域総合治水推進協議会について  (1) 設置について  (2) 総合治水条例について  ・ 総合治水条例制定の背景  ・ 総合治水条例の概要  (3) スケジュールについて</p> <p>3. 議事  (1) 中播磨 (市川流域圏) 地域総合治水推進計画 (素案) について  ・ 計画地域の概要 (現状と課題)  ・ 基本目標・基本方針  ・ 河川下水道対策  ・ 流域対策  ・ 減災対策</p> <p>4. その他 (連絡事項)  5. 閉会</p>		
資料	資料1-1 中播磨 (市川流域圏) 地域総合治水推進協議会 設置要綱 資料1-2 中播磨 (市川流域圏) 地域総合治水推進協議会 公開要領 資料1-3 中播磨 (市川流域圏) 地域総合治水推進計画策定にかかる体制 資料2 中播磨 (市川流域圏) 地域総合治水推進協議会について (パワーポイント) 資料3 中播磨 (市川流域圏) 地域総合治水推進計画 (素案) 説明資料 (パワーポイント) 資料4 中播磨 (市川流域圏) 地域総合治水推進計画 (素案) 資料5 総合治水条例パンフレット		

## 1 開会

- あいさつ (姫路土木事務所長)
- 構成員の紹介 (事務局)

## 2 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会について

### (1) 設置について

資料1-1「中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 設置要綱」の説明を行った。

資料1-2「中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 公開要領」の説明を行った。

資料1-3「中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画にかかる体制について」の説明  
(事務局)

### (2) 総合治水条例及び策定スケジュールについて

資料2「総合治水条例制定の背景、総合治水条例の概要、中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画の策定スケジュール」の説明(事務局)

## 3 議事

### 3.1 議事録署名人の選出

座長は、議事録署名人として大川構成員を指名し、了承された。

### 3.2 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画(素案)について

資料3「地域総合治水推進計画(素案)の概要について」の説明(事務局)

主な意見

#### (1) 河川整備について

- ・ 資料4 P14に近年の被害状況を記載しているが、河川の整備状況について、補足説明いただきたい。(座長)
- ・ この推進計画をバイブルとして、県・県民ともに取り組みを行うこととなる。福崎管内の河川は、災害復旧は数多く行っているが、河川改修の基本は、下流からとなるため、治水安全度は上がっていない。市川町の振古川の整備を河川整備計画に位置付けており、実施していく。(姫路土木 構成員)
- ・ 市川の新町で護岸が整備されていないところがある。河川に民家が近接しているところは優先的に取り組んでもらいたい。(県民 構成員)

#### (2) 水田やため池での貯留について

- ・ 昨日の降雨でもゲリラ的豪雨のため事前情報がないが、事前に降雨の情報が取得できるのか。(県民 構成員)
- ・ 今は気象予報でインターネットとかでリアルにわかる。(姫路土木 構成員)
- ・ 100%貯めなくともよい時期は80%の貯留にする等はできないか。ゲリラに対しては難しいが、台風が接近するとき等に協力いただくことが想定される。(姫路土木 構成員)
- ・ 水田は、面積が大きく、効果はあると考えられるが、農家としては、水の必要な時期と田んぼを乾かす時期があり、いつ降るかわからない大雨に対応するのは難しい。(県民 構成員)
- ・ 貯める場所と効果がある場所が異なるため、調整が必要である。(姫路農林水産振興 構成員)
- ・ 言うは易しだが、実現方策は考えられるのか。(姫路土木 構成員)

- ・ 現状では、赤穂の田んぼダムの事例や県で作成しているチラシ等の取り組みがある。(姫路土木 構成員)
- ・ 田んぼダムの実施効果を説明しないと理解が得られないのではないか。(県民 構成員)
- ・ 効果を知ってもらうことが重要である。(県民 構成員)
- (3) 財源について
  - ・ 計画を推進していくための財政はどうなっているか。(県民 構成員)
  - ・ 資料4 P118に財源の確保として、記載されている。(姫路土木 構成員)
- (4) 河川の維持管理について
  - ・ 昭和橋付近の川底が上がり、樹木も生えている。(県民 構成員)
  - ・ 河川の維持管理の記載があればよい。(姫路土木 構成員)
  - ・ 資料4 P50に適切な維持管理を行うことが記載されている。(姫路土木 構成員)
  - ・ 資料4 P44に振古川の河床掘削が記載されているが、いつできるかわからない。(県民 構成員)
- (5) 流域対策について
  - ① 高齢化と山地管理
    - ・ 地域で取り組みを行うにあたり、地域としては、高齢化が問題となり、山も見る人がいない。(県民 構成員)
    - ・ 資料4 P107に、浸水軽減の体制整備として高齢化の問題を提起している。(姫路土木 構成員)
    - ・ 山を見る人がいないと保水能力が落ちるものなのか。(姫路土木 構成員)
    - ・ 手入れの行き届かない人工林は、日が入らず、下木が生えず、保水能力が落ちる。(県民 構成員)
  - ② 学校貯留
    - ・ 学校貯留では、学校に行かないといけない時に行けないというような事例はないか。(県民 構成員)
    - ・ 何日も湛水することはなく、洪水後数時間で水は引く。(総合治水課 関係者)
  - ③ 各戸貯留
    - ・ P81各戸貯留の補助は市町の取り組みとなっているが、国や県での取り組みはないか(福崎町 構成員)
    - ・ 国では、河川への流出に寄与するものには補助があるが、各地先での効果になるものへの補助はない。県としては、今後の取り組みの効果をみた上での取り組み課題となる。(総合治水課 関係者)
    - ・ 県の河川整備が進まないため発生している内水被害の解消を当面の間は各戸貯留等の住民負担による対策に委ねざるを得ないのが実情であり、そういう観点から県としても何らかの補助を検討してもらいたい。(福崎町 構成員)
- (6) 減災対策について
  - ① 防災リーダーの養成
    - ・ 県の方で、自主防災のリーダ養成の講座が開かれているが、遠方等、限られた地域でしか実施されていないので、各地で実施し、広く参加できることが望まれる。(県民 構成員)
    - ・ 中播磨地域ひょうご防災リーダー講座の受講について、今週金曜日まで募集をかけており、現在で、定員60名のところ50名弱の募集があった。受講費は無料で12回の講座となる。今後、地域を広げることも検討する。(中播磨県民局 総務企画 構成

員)

② 河川監視カメラについて

- ・ 河川水位等を見ながら水防活動を行うこととなるが、市川に河川監視カメラの計画はないのか。(福崎町 構成員)
- ・ 市川にも河川監視カメラは設置されており、インターネット配信されている。(姫路 土木 構成員)
- ・ 資料4 P98にインターネット画面を掲載している。(事務局)
- ・ 福崎町にも設置してもらいたい。(福崎町 構成員)

4 その他

事務局より、今後の予定について、説明があった。

8月9日：下流域ワーキング

9月：第1回協議会

11月：第2回ワーキング

12月：第2回協議会

5 閉会

第1回 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 上流域ワーキング  
出席者一覧

(順不同、敬称略)

属性	氏名	主な役職	出欠
兵庫県	宮内 勇児	中播磨県民局姫路土木事務所 主幹(企画調整担当)	出席
	大川 豊成	中播磨県民局姫路土木事務所 副所長(福崎事業所長)	出席
	長島 輝久	中播磨県民局姫路農林水産振興事務所 副所長	出席
	城下 隆広	中播磨県民局総務企画室 主幹兼企画防災課長	代理出席 原田
	高階 豊宏	但馬県民局朝来農林振興事務所 副所長	出席
市・町	森下 隆之	朝来市都市環境部建設課担当部長	出席
	小島 公明	朝来市生野支所長	出席
	松原 敏典	朝来市産業経済部長	代理出席 足立
	藤原 龍馬	神河町建設課長	出席
	野村 浩平	神河町地域振興課長	代理出席 多田
	足立 和裕	神河町住民生活課長	出席
	中岡 輝昭	市川町建設課長	出席
	広畑 一浩	市川町地域振興課長	代理出席 近藤
	尾花 哲也	市川町総務課長	代理出席 岡
	西川 尚浩	福崎町技監	出席
	牛尾 敏博	福崎町民生参事	出席
県民	坂本 薫	朝来市生野町区長会 会長	出席
	生田 良昭	神河町区長会 副会長	出席
	小野 芳則	市川町区長会 会長	出席
	松岡 政行	福崎町区長会 会長	出席

議事録確定署名人

座長:中播磨県民局姫路土木事務所 主幹(企画調整担当)

宮内 勇児

中播磨県民局姫路土木事務所 副所長(福崎事業所長)

大川 豊成